

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
https://www.city.ichinoseki.iwate.jp

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

大東版

Oct.2018 No.314

10.15



①たたら炉に木炭を入れる作業 ②炉から出したケラを水に入れて冷却 ③取り壊した「たたら炉」 ④作業を終え笑顔の児童

伝統を受け継ぎ今年で20回目。大原小学校たたら製鉄総合学習

COVER ★たたら製鉄総合学習

撮影日 平成30年9月4日

場所 砂鉄川たたら製鉄学習館

大原小学校(校長 佛川恒明、児童132人)の6年生23人による「たたら製鉄総合学習」は9月4日、大東町大原内野地区の砂鉄川たたら製鉄学習館で行われました。製鉄学習は旧内野小学校から大原小学校へと受け継がれ、今年で20回目。児童が事前に川から採取した砂鉄を使い、製鉄作業に取り組みました。

ホッパの会(勝部昌平会長)と日本大学生が今日のために作った2基のたたら炉に、木炭と砂鉄を10分おきに入れ、炉内を1300〜1400度に加熱。木炭をくべるたびに、勢いを増した炎が天井高く上がっていききました。砂鉄約70キロから、ケラ(鋼のもとになる塊)は約20キロできました。

及川優奈さんは「木炭と砂鉄を入れた時間をきちんと記録できた」、奥出絢さんは「みんなで協力して作業ができました。炉から大きな塊が出てきてすごいと思った」と話していました。